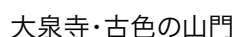




杉の古刹と里山を楽しむ

大泉寺・小山田城址散策

その後、小山田の領地は人手に渡し、歴史も途絶えましたが、その末裔は武田信玄に属していた小山田信茂であるとの伝説があり、その伝説が最近有力となりつつあります。歴史的な見解は諸説あるようですが、戦国時代に思いを馳せながら、大泉寺見学と参りましょう。



ゴルフコースの脇道を道なりに、道標に従って小山田緑地方面を目指しましょう。ところどころ幅1mにも満たない小道は、枯葉が堆積した柔らかい土が、足にやさしくふかふかとした感触を伝えてくれます。道中には木製のベンチも点在し、小休止をくり返しながらのんびりと歩けば、狭いながらも多摩丘陵の谷地が楽しめます。小山田緑地は畑や田んぼ、季節には満開の梅や桜の花

が楽しめますが、ここはゴルフ場をも横断するユニークなハイキングコースです。数か所「ゴルフカート・プレイヤーの横断あり」注意の黄色い標識が目を引きまします。もちろん、遠目にゴルフプレイも見るすることができます。

30分程歩くと、やがて集落が見えてきます。道端の芹の香り、稲穂や数々の野菜の実りなどを眺めながら里山の風景を楽しみましょう。

道の突き当たりが大泉寺の参道に合流します。ちょっとした桜並木の参道を奥に進むと**古色の山門**が待ち構えています。立派な杉の木に囲まれた山門は大変古く、風神・雷神など4体の木彫が木肌のまま鎮座し、古刹の風格があります。

山門をくぐると新しい本堂や数体の羅漢さんや梵鐘が見られます。本堂の背後にある補陀山が小山田城址ではないかと言われております。境内のすぐ左手奥の山腹には、小山田有重、行重、高家のものといわれる**三基の宝篋印塔**がありますが、梵字が苔むし擦れ、定かではありません。小さい塔ですので見逃さないようご注意ください。

参道出口のすぐ左手にある**はっく 八石地藏尊**もお参りしましょう。昔、大泉寺に立ち寄った徳川家康が使者を遣わし、十石の禄を与えると住



三基の宝篋印塔

持に伝えたそうですが、頂く理由が解らないけれども断るのも無礼だと思い、地藏様に八石だけ頂いたという謂れがあります。

さて、参道を出たら右に1分ほど歩きますと、なんと**昔ながらのバス停**



八石地藏尊

が残っているではありませんか。ここからバスに乗って帰るも一興ですが、体力に自信があれば、小山田緑地公園を散策されながら戻られるのもよいでしょう。



昔ながらのバス停

春は柔らかい日差しと梅と桜が、夏は歴史上の防人と武将が蝉の声とお供します。秋は勿論、鄙びた田園風景と紅葉をお楽しみください。

ロイヤル Q & A

Q: 門限や生活上の決まりはありますか？

A: 正面玄関は、6:00～20:00の間開いておりますので、その時間帯の出入りは自由に出来ます。それ以外の時間帯の出入りについては、防犯上の観点から事前にお届けいただき、出入りの場所・カギの受け渡しなどをその都度ご相談するようにしています。また、服装は自由ですが、レストランなど共同生活の場では、身だしなみ程度の服装をお願いしております。ご入居時に「ご利用のしおり」をお配りし、共用部利用の約束事などをご理解いただいて、プライバシーを尊重した、快適な生活をされるよう配慮致しておりますのでご安心ください。

節分

ロイヤルにやってきた赤鬼・青鬼に、一年の無病息災を願い「鬼は外、福は内」と大きな掛け声とともに豆をぶつけ、その後は和やかに福豆を味わいました(2月3日)。



観梅会

薬師池公園に梅見に行って来ました。白梅・紅梅とも満開の中を散策し、池では鯉に餌をやりました。昼食は「梅の花」町田店で豆腐懐石コース「花の膳」を囲みました(3月8日)。

お花見ツアー

桜はタイミングが大切。今年は開花が予想より早く、ツアー当日の朝にコースが決まりました。今回は、府中市の東郷寺へ行き、待ち遠しかった満開の桜を鑑賞しました(4月1日)。



バーベキュー昼食会

「バーベキュー昼食会」が、最高の天気に恵まれて開催されました。職員が釣ってきた脂がのった「鯰」(塩焼き・フライ)は、最も人気があり、冷えた生ビールを片手に談笑も弾みました(5月28日)。



6月の友楽タイム

花笠音頭や会津磐梯山などは手拍子を取って、ドンパン節は振り付けを覚えてもらいながら一緒に楽しく踊りました。民謡のほか古城や天竜月夜舟などのしっとりした踊りや、愛嬌たっぷりの安来節と盛り沢山の内容でした(6月16日)。

第19回ロイヤル誕生パーティー

ロイヤルも創業以来 20 年目を迎えることができました。ご入居者の皆様は、盛り沢山のお料理と中島エリナさんによる弾き語りに大満足され、記念の日をお祝しました(7月8日)。



ビアパーティー

ビアパーティーがエントランスにて催され、70 名以上のご入居者でにぎわいました。「プルメリア」というムードたっぷりのハワイアンバンドの音楽に合わせて、ロイヤルのダンサー達も軽やかに踊り、すいか割りや花火に歓声をあげました(8月17日)。

ロイヤルライフ多摩のスタッフによる 介護・看護から生活サービスまで その取り組みを99のお話しにして 書いた本が出版されました。



ロイヤルの工夫99

B5 判オールカラー 238 頁
定価：2,600 円税込
発行：PHP パブリッシング

「ご入居者原点」をモットーに、日々サービスの向上を図っているロイヤルライフ多摩ですが、創業以来、ここまで至るにはあらゆる試行錯誤がありました。なぜなら、有料老人ホームのサービスはマニュアル通りにはいかない、生きているサービスだからです。常に進化が求められるからです。

この本を制作するにあたっては、ロイヤルライフ多摩のサービスを生き活きとした形で表現し、それが新たなマニュアルにも記録にもなるようにと、編集委員会を立ち上げ、2年越しで発刊にこぎつけました。この紙面で全てをご覧いただけませんが、少しでも中身をご紹介します。



お楽しみ入浴

ロイヤルでは、介助入浴の方に回でも多く入浴していただき、お風呂に入る爽快感を味わってもらいたいと願っています。そこで、多くの方に入浴を楽しんでいただくための工夫として、毎月「お楽しみ入浴の日」を設けてみることにしました。

ロイヤルは自然環境に恵まれていますので、敷地内には四季折々に花が咲き、春になると、さつき、しゃくなげ、ボタン、紫陽花などの花が次々に咲きます。しかし、介護館で生活されている方は外に出る機会が限られていますので、花をお見せすることで季節を感じていただくこと、敷地内に咲いている花を摘んできて、浴槽や脱衣所に飾ってみました。すると、季節の花をご覧になるご入居者の目が輝いて、「今日はお風呂から出たくないわね」といつもより長く湯船に浸かっていらっしゃる方もおられました。季節の花がご入居者の心に慰めを与えてくれたのです。

(以下省略)

イラスト・写真を添えて、読みやすさ・分かりやすさに配慮したページ作りをしました。

この本は、高齢化社会を前向きに過ごしていただくために、有料老人ホームをより深く「知る」「考える」ための一助となろうかと思えます。全国一部書店、アマゾンネットでお求めになれますので、ぜひご一読ください。

編集後記

今年は例年になく残暑が厳しいようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？お陰様でロイヤルも20年目を迎え、この間業界を代表し、牽引する役割を果たして参りました。今回出版した「本」も高い評価をいただいておりますことは、大変嬉しい限りです。今後ご入居者の皆様とともに一歩ずつ、前進して参りたいと思います。宜しくお願い申し上げます。(T)



信頼される安心を、社会へ。 介護付有料老人ホーム
SECOM ロイヤルライフ多摩
(社)全国有料老人ホーム協会会員

本誌の感想、ロイヤルへのご要望・
ご質問など、お寄せください。

0120-27-1461

ロイヤルライフ多摩

検索

→「ご質問・お問い合わせ」クリック